

「青木南地区まちづくり協定」締結 —美しく、住みよいまちを目指して—

「青木南地区まちづくり協定」が平成15年2月5日に神戸市長と青木南地区まちづくり協議会との間で締結されました。今後、建築物の新築・増築や開発などを行う場合は、協定に基づく届出が必要となります。

青木南地区は東灘区南部に位置し、国道43号と海にはさまれ、古くから酒造業や素麺製造などで栄えてきたまちです。当地区では、工場地区に近接した住宅地区の環境保全などの課題がありました。近年、大規模商業施設の建設や工場・事業所跡地の増加などをきっかけに、地域でまちづくりの関心が高まりました。



平成12年11月には、住民が中心となって「青木南地区まちづくり協議会(会長:村上^{ひでのり}偉矩氏)」を設立し、様々なまちづくり活動を行ってきました。その結果、地域の将来像として「まちづくり基本構想」を策定し、それを推進するために必要な一定のルールを定めた「まちづくり協定」を作りました。

まちづくりの基本目標

海と潤いと文化のある安全・安心で
魅力のあるまち

本協定は、市内で9番目のまちづくり協定となります。

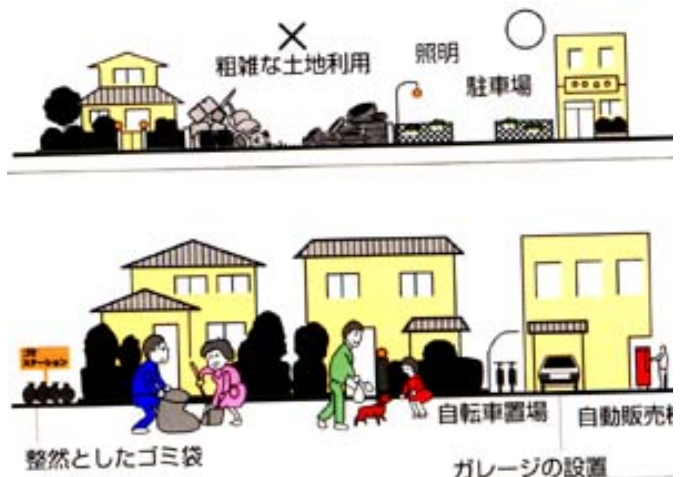
協定の特色は、海に面した美しいまち、住工商が調和するまちを目指して、①風俗営業、危険性のある工場等の建物制限、②環境を著しく損ねる土地利用の制限、③地域内環境への配慮(生垣・植栽^{すいしやう}の推奨、大

気・水質汚染等の防止、生活マナーの^{じゆんしゆ}遵守)、などが盛り込まれている点です。

協定の主な項目

- 建築物の用途、営業の制限
- ファミリー形式住戸の^{すいしやう}推奨
- 荷さばき等駐車用地の設置
- 垣、柵等の構造の制限
- 土地利用の制限
- 周辺環境への配慮
- 生活マナーの^{じゆんしゆ}遵守

■協定イメージの一例



“カルチャー・ショック(!?)インドネシア” —その5「インドネシア語講座」—

Selamat Siang! (スマツ・ツツ=こんにちは) 今回は少し気分を換えて、bahasa Indonesia (バハサ・インドネシア=インドネシア語) について書きたいと思います。

1. 世界で最も簡単な言葉=インドネシア語

前回までにご説明したとおり、インドネシアは多民族国家ですから、各民族はもともと、それぞれの言葉を使っていました。しかし、20世紀に入り、オランダからの独立を目指すにあたって共通語が必要となり、マレー語をもとにインドネシア語が誕生しました。インドネシア語は世界で数多くある言語の中でも最も簡単と言われており、1ヶ月も勉強すれば、結構話せるようになります。

2. ほとんどローマ字読み。発音が簡単。時制もない。

日本人が英語を習得するのに苦戦する要因は、発音の難しさにあると言えます。それに比べ、インドネシア語はスペルをほとんどローマ字読みしてOKで、発音も難しくありません。また、動詞の時制の変化が基本的にないため、非常にシンプルな文法です。

3. 修飾語は後ろから

例えば「私の名前」と言おうとすれば、Nama (ナ=名前) の後ろにsaya (ヤ=私) と、修飾語は後ろからつけていきます。ちなみに、オランウータンとはorang (人) utang (森) で、「森の人」という意味です。

4. 英語と同じ語順。とにかく短いフレーズ。

語順は“S+V+～。”が基本となります。よって、“My name is WAKAMATSU.” は“Nama saya WAKAMATSU.” になります。この場合、インドネシア語には「です」にあたる動詞がないので、このような形になります。ちなみに、be動詞の「いる。ある。」は“ada”で、I am in Japan.=Saya ada di Jepang. (ヤ・アガ・テイ・ヅ ヲッ) になります。どうですか。簡単でしょ。

5. 日本語に似ている言葉。同音異義語。

先ほどのnamaやadaのように、日本語に似ている言葉もあります。例えば「Nasi (ナシ) =めし」。これは代表的なインドネシア料理「ナシ・ゴレン=焼き飯」で有名です。その他「Anda (アダ) =あなた」、「Sudah (サダ) =済んだ」などもあります。また、日本語との同音意義語として、次のようなものがあります。



ナシゴレン

- ・「mata (マタ) =目」

同じカラダの一部でも、かなり場所が違います…。

- ・「gambar (ガムパ=ル) =絵」

でも、インドネシア語には「頑張る」に相当する言葉がないらしい。あまり頑張る機会がないから、そういう概念がないのか…。

- ・「akan (アカ) =英語のwillに相当」

私を含めた関西人がゴルフのミスショットの後、これを連発すると、キャディが不思議そうな顔をしていた…。

- ・「Ikan (イカ) =魚」

関東人もゴルフの時にこれを連発すると、キャディはこれまた不思議そうな顔、というか笑い出す始末。Ikanを食ってはいかん！という親父ギャグも可能(!?)

- ・「Kue (クエ) =お菓子

クエ

Kueを食べえ！なんていう、親父ギャグも…。



これくらいでやめておきましょうか(笑)。

6. 重ねる言葉のおもしろさ

インドネシア語では、同じ単語を重ねると別の意味になるものがあります。有名なのはJalan (ジャラン)。これは「道」の意味ですが、これを重ね、jalan jalanとすると「散歩」。同様にhati(ハティ)は“heart=心”ですが、hati hatiで「気をつける。注意。」といった意味になります。その他、bagi (バギ=割る) はb-ag i bagiにすると「割り勘」、pagi (パギ=朝) はpagi pagiで「早朝」の意味。何かかわいい感じがしませんか。

7. “Tidak apa apa” “Kira kira”

インドネシア人は“Tidak apa apa (テイダ・アパ・アパ=大丈夫)”という言葉をよく使います。関西弁の「かまへん」にニュアンスが近いのですが、大概のことはこう言って大目に見てくれます。また“Kira kira (キラ・キラ=だいたい)”というのでもよく使い、常夏の国らしく何事も「だいたい」で済ませられるのもいいですね。

8. インドネシア人の英語

最後にインドネシア人の話す英語について。彼らは“v”の発音は「フィー」で、また、スペルをローマ字読みしたり、時制がおかしかったりします。villageは「ヴィレッジ」、dataは「ダタ」、さらにI came tomorrow.といった具合です。このため、赴任したころは全く何を言っているのか理解できませんでしたが、最後は、私自らわざと「ダタ」とか言っていました。

その結果、元から乏しい私の英語力はさらに下落の一途を辿る羽目になってしまいました。それでも“Ti-dak apa apa (大丈夫)”と言って笑って許してくれるインドネシア人は心から愛すべき人達です(笑)。

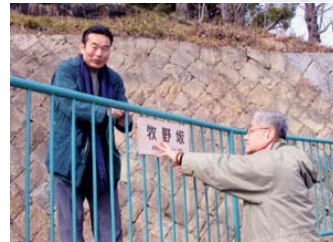
若松謙一 (企画調整局総合計画課地域政策係長)

～会下山地区の坂道に愛称の案内板をつりました～

会下山地区は兵庫区中部の丘陵地にあり、地区内に桜の名所である会下山公園を有し交通や日常生活の利便性が高く、高台の住宅地として親しまれてきました。平成13年4月に「会下山地区まちづくり協議会（会長：北谷英倫氏）」を設立し、地区の基本的イメージを“陽のあたる緑ゆたかな丘のまち”として、まち歩き、アンケート調査、ニュースの発行、寄せ植え講習会などの活動を展開してきました。

平成14年度は、まちづくり構想を検討する一方、地域の特性を活かしながら「何か形に残るものを」との思いで、住民が生活道路として普段から利用している主な坂道4本に愛称を募りました。採用された『学

板に電気ゴテで焦げ目をつけて文字を書く →



歩行者が見やすい場所に住民が設置する ←



会下山公園への距離や、まちづくり協議会の角印もある →



びの坂』『牧野坂』『参道坂』『花見坂』は、それぞれ場所の特性や住民の想いが現れた名称です。さらに、この愛称を多くの人に知ってもらうためと道案内を兼ねて、案内板を地域の方々が手づくりで製作し、坂道の16か所に設置しました。

会下山地区まちづくり協議会の久保田副会長は、「子育てと同じで、まちを育てるためにまちに名前を付け、地域に愛着を持つことが大切であるとの思いで案内板を作り、地域や周辺の方々から『きれいな標識にいい名前』との声を聞いて喜んでいる。」と言っています。

会下山地区は、このような具体的な活動と地域の環境を育成・保全していくため「まちづくり構想」「まちなルール」づくりに取組を進める予定です。

(都市計画局まちづくり支援室・兵庫区まちづくり推進課・㈱環境緑地設計研究所)

まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

3月 3日(月)～31日(月)	なつかしき心のまちかど再発見	住宅局住環境整備部地域支援課 灘中央地区まちづくり協議会
-----------------	----------------	---------------------------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
3月13日(木)～18日(火)	真率会展(日本画)	西田 真人
3月20日(木)～25日(火)	第17回水彩会作品展(水彩)	朝日カルチャーセンター 水彩山岡教室
3月27日(木)～4月1日(火)	「のむら・アート・るーむ」 作品展(児童の工作等)	のむら・アート・るーむ

駒ヶ林いかなごウォークラリー

市内で唯一昔ながらの漁師町の風情を残したまち『駒ヶ林』。細く入り組んだ路地など特徴のある街並み、史跡や言い伝えも多く残されています。そんな『駒ヶ林らしさ』を多くの人に知ってもらおうと「まち歩き」を中心としたイベントを開催します。また駒ヶ林名物「いかなご釘煮」コンテストも同時開催されており、コースの途中でウォークラリー参加者のみなさんに試食&投票していただくなど、楽しい企画がいっぱいです。ぜひご参加ください！

日時 3月15日(土) 小雨決行 13:00~16:30ころ(受け付けは15:00まで)

場所 「駒ヶ林公園」で受け付け

(地下鉄海岸線「駒ヶ林」駅出口2南へ。車での来場はご遠慮ください。)

参加 無料・申し込み不要(★参加賞あり・但し先着100人)

主催 駒ヶ林まちづくり協議会

“いかなご釘煮”コンテストのイメージ →



問い合わせ 住宅局地域支援課 駒ヶ林イベント係(322-5647) ※当日のみの臨時電話 090-8535-2887

平成14年度復興まちづくりセミナー

今年のセミナーは、「女性、生活者の視点からみた神戸の復興とこれからのまちづくり」をテーマに各界でご活躍の方による基調講演、パネルディスカッションを通じて、会場全体で考えてみる場としました。

日時 平成15年3月16日(日) 午後1時~4時

場所 神戸市男女共同参画センター2階セミナー室(中央区橋通3丁目4-3) 地下鉄大倉山駅徒歩3分

定員 200名(先着順)

基調講演「震災復興からこれからのまちづくり」

上野 弘子氏(広報メディア研究所代表)

パネルディスカッション「美しく魅力ある神戸を考える」

(コーディネーター) 有村 桂子氏(㈱いるか設計集団代表取締役)

(パネラー) 有光るみ・上野弘子・高橋正子・田中まこ・広野道子各氏

主催 こうべまちづくりセンター・ひょうごまちづくりセンター

※ 会場の都合がありますので、事前に申し込みください

お問い合わせ・申込みは、こうべまちづくりセンター



都市計画道路湊町線 開通記念イベント

菜の花まつり

時間: 12時~14時40分

場所: 兵庫区東出町2丁目・3丁目付近

(川崎重工業(株)正門付近から西側の未開通道路上がイベント会場)

3月23日(日)

主催: 西出・東出・東川崎地区まちづくり協議会

- ・道路の愛称発表
- ・兵庫木遣音頭や東川崎恵比寿太鼓の披露
- ・菜の花とまちの紹介コーナー
- ・飲食、バザー、遊戯、企業等のブース設置

問い合わせ 住宅局地域支援課(電話322-5646)

兵庫南部まちあるき

—ヴィッセル神戸の選手と楽しむ兵庫南部クイズラリー—

神戸ウイングスタジアムとその周辺のまちを楽しむクイズラリーです。このまちならではの魅力や資源を探してみませんか?ヴィッセル神戸の選手と出会うかも!?ヴィッセルグッズが当たる楽しいアトラクションもあるよ!

日時 3月30日(日) 9:30~12:00 雨天決行

場所 兵庫南部地域(受付は、和田宮公園で9:30から)

(神戸市営地下鉄海岸線和田岬駅1番出口降りてすぐ)

定員 300名(当日先着順に受付します)

主催 ココガナプロジェクト

お問い合わせは、こうべまちづくりセンター



集合場所
和田宮公園